

## 「さつき園」が法人化

### 「社会福祉法人宍粟福祉会」が運営主体に

山崎町五十波にある「さつき園」は、宍粟市立の障がい者施設として、知的障がい者の生活指導や就労訓練等をこれまで行ってきた。

しかし、市の行政改革で民営化

の方針が打ち出され、2年前から宍粟市手をつなぐ育成会を中心に運営方法が検討されてきました。その結果、新しく社会福祉法人をつくり、4月1日から運営することになりました。



自転車部品の点検と商品を入れる箱作りなどにみんなで取り組んでいます

運営するのは、社会福祉法人宍粟福祉会（森本都規夫理事長）です。「支えてくださる地域の方やボランティアのみなさんと交流を深め、一人ひとりが主役になれる居場所にしたい」と、新施設長の西塚洋子さんは抱負を語ります。

利用者みんなが住み慣れた地域で、自分らしくいきいき暮らしていくためにがんばってください。新しくなった「さつき園」の取り組みを社協も応援していきます。

（山崎支部 森井裕矢）

## 小地域福祉活動のリーダーとして 代表福祉委員連絡会議



手作りのかわら版が完成!  
「i LOVE いちのみや」

3月27日（火）、一宮保健福祉センターを会場に「一宮支部代表福祉委員連絡会議」を行い、29名が出席しました。会議では、23年度に本会一宮支部が取り組んだ小地域福祉活動の報告や24年度の活動計画を説明しました。

また、3月中の創刊号発行をめざし準備を進めていた支部発の広報紙「一宮支部社協かわら版」が完成。今回から発行するかわら版の配布について、各自治会の福祉委員さんに協力いただきたい旨を伝え、福祉活動の一環として配布いただくことになりました。24年度も一宮支部が進める



「24年度から2年間、小地域福祉活動モデル地区(市内6自治会)を指定し、住民と社協が連携して、その地域の実態に合わせた福祉活動を進めていきます」

小地域福祉活動のリーダーとして、代表福祉委員さんの果たす役割は重要です。自治会や隣保単位の福祉活動を進めていく上でその世話役、まとめ役として大いに期待しています。

（一宮支部 波多野好則）